

筑紫野市ゼロカーボンシティ宣言

近年、世界各地で地球温暖化に起因する記録的な豪雨や猛暑、台風などの自然災害が国内外で多発しており、私たちの生活環境に深刻な影響を及ぼしています。

2021 年に開催された COP26(国連気候変動枠組条約第 26 回締約国会議)においては、世界の平均気温上昇を産業革命前と比較して 1.5℃に抑える努力を追求することが合意され、脱炭素社会の実現に向けた動きが加速しています。

日本においても、2050 年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする目標が掲げられており、脱炭素社会の実現に向けた取り組みが本格化しています。

本市においても、こうした世界と日本の動向を踏まえ、二酸化炭素排出量削減に関する方針や施策を見直し、令和 7 年 3 月に「第三次筑紫野市環境基本計画」を策定いたしました。

本計画が掲げる望ましい環境像「みんなでつくるみどり輝くふるさと筑紫野」の実現に向けて、市民や事業者などと手を携え、脱炭素への取り組みを更に進めていくために 2050 年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを実現する「ゼロカーボンシティ」の達成に向けて取り組むことを宣言します。

令和 7 年 7 月 1 日

筑紫野市長

平井一三

